

# 公明こうち 市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党  
住 所／〒780-0870  
高知市本町4丁目1番24号  
TEL:088-823-9403  
FAX:088-871-2485

2017年(平成29年)2月1日 第36号



高知市議会 KOMEITO 公明党

- ◆ 水質に関する7条検査と、その後毎年1回定期的に行う定期検査である11条検査を含めた浄化槽の設置から維持管理までの事務の一元化についての推進と担当所管の設置を提言しました。
- ◆ 災害時における汚水対策について  
　災害時指定避難所施設や公園のトイレ等の汚水を公共下水道への接続後不要な旧浄化槽を災害時便槽（災害時マンホールトイレ）として残す施策について、推進を提言しました。
- ◆ 高知市立学校施設の空調整備について  
　市長公約での全中学校の普通教室及び特別教室に平成30年度までに空調整備を完了する施策について先進地の例を挙げPFI事業で中学校と小学校も合わせての全整備を提案しました。
- ◆ アニマルランドについて  
　地震発災時、施設の動物の命を守る対策と施設再整備の検討チームの立ち上げを求めました。
- ◆ 選舉行政について  
　選挙当日の共通投票所設置と中山間地域の高齢者や障がい者の投票環境推進に移動期日投票所や投票所カーラーの推進を提案しました。

◆市長の政治姿勢について  
山根堂宏議員は、一問一答方式で質問しました。（質問内容は以下の通り）

私は、この5つの整備目標を達成するために、桂浜公園を中心として日本遺産の認定を目指すことを提案しました。

日本遺産の認定は、現在文化庁が進めている事業で、2020年までに日本遺産を全国に100箇所程度認定することとしています。

文化庁が日本遺産認定事業を推進する理由は、2020年に東京で開催予定のオリンピック。パラリンピックに向け、年間の訪日外国人旅行者数が増加しつづけることが見込まれるからです。

今、高知市が桂浜観光振興の将来を考える時、忘れてはならないのは、高知市浦戸出身で桂浜を高知市に寄贈した高千穂商科大学の創設者、川田鉄弥先生の桂浜学園と記した碑であります。

川田先生は、浦戸湾の歴史的価値に着目し、桂浜は自然と歴史を学ぶ場にふさわしいと考え桂浜学園と命名しました。

このことを踏まえ、高知市も坂本龍馬像のある桂浜公園を中心に日本遺産認定の申請を行うべきであると市長に提言しました。

(詳細は寺内のりよしHP参照)

- 桂浜の観光振興策を提言しました。
- 現在、高知市が進める桂浜公園整備基本計画は、次の5つの整備目標からなっています。
- 自然景観を重視した景勝地にふさわしい公園
- 歴史に想いをはせる公園
- 学び、憩い、楽しみと活気があふれる公園
- 訪れる人に優しい公園

◆特認校の通学の手段の確保について

①妊娠・出産・育児を連携させる保育園併設型の地域子育て支援センターの機能をつける  
②赤ちゃんから高齢者まで、多世代交流の拠点のモデル施設とする  
などのメリットを發揮するよう求め、市長から「多角的に検討する」との答弁を得ました。

スクールバスの導入を求めましたが、課題も多く、デマンドタクシー（スクールタクシー）の整備を提案し、以下の答弁を得ました。

①デマンドタクシーを活用して、遠距離通学をサポートする体制を求める、市民協働部からは「地域の方も利用できるよう、時間帯や便の設定を検討する」との答弁。  
②教育委員会には、その通学費を一体的に補助するための要綱の改正を求める、教育長からは「ルールづくりを検討する」との答弁。  
③市長には、スクールバスとの公平性の観点からその全額を助成するよう要請し、「平成29年度からの実施に向け検討する」との答弁。

◆秦中央保育園の移転について  
秦中央保育園と秦ふれあいセンターとの複合化について、公共施設のマネジメントの観点から、再度、提案しました。



やまね たかひろ  
**山根 堂宏 議員**



てらうち のりよし  
**寺内 憲資 議員**



にしもり みわ  
**西森 美和 議員**

第458回

## 市政課題に精通した論陣を展開

# 平成29年度 予算要望書を岡崎誠也市長に提出

昨年の11月25日に新年度の予算編成に向けた、「平成29年度予算要望書」を岡崎市長に提出しました。

私たち、公明党は「希望が、ゆきわたる国へ」のテーマを掲げ、ようやく見え始めた「希望」を地方や中小企業、個人家庭にまで広げるべく「成長の分配と好循環」を加速化させる政策提案を行ってまいりました。

高知市に於いても新年度の予算編成にあたって市民の生命とくらしを守るために、地域医療構想の実現にむけた医師会との連携強化をはかるなどの確立を求める重要な5項目や財政と連動させた「公共施設マネジメント」の実施計画の策定・連携中枢都市圏への着手など、また最も心配される南海トラフ地震対策にスピード感をもって、木造住宅の耐震施策推進に万全を期さねばなりません。

そのような背景のもと編成される平成29年度予算に対し

各部局に対しての重点施策など144項目の予算要望を求めました。



## お知らせ

### 臨時福祉給付金が支給されます。

#### 対象

- 平成28年1月1日時点で、高知市に住民登録がある方
- 平成28年度分の市県民税(均等割)が課税されていない方  
※但し課税者の税法上の扶養親族等の方および生活保護法に規定する被保護者等は対象外

#### 申請受付

平成29年3月上旬から平成29年6月下旬

広報「あかるいまち」2月号のお知らせをご注意ください。また、支給対象の方には通知文が送られますので、申請受付期間に手続きをお願いします。

今年の十二支は酉となり。わが会派では6名中3名が年男年女。酉は「取り込む」という意味から、商売繁盛の象徴であると言えます。また一番に暁を告げるものとして縁起のよいものだとされます。  
さらに酉は犬猿の仲である「申」と「戌」の間に取りもつ存在であり、皆の意見をまとめて形にしていくという大事な役割を担うのだそうです。

批判や分断ではなく人と人を結ぶ力が今ほど求められる時代はありません。国际社会でも政治の転換点をむかえ今后の日本の舵「トリ」がますます重要なになります。

西年の私も地域課題の解決を目指して本年も「コツコツ」現場をまわりながら、しっかりと「トリ」組んでまいります。(白桃)

## 志国高知 幕末維新博 ～時代は土佐の山間より～

平成29年3月4日より、博覧会第一幕開幕!

本年、2017年は江戸幕府が政権を朝廷に返上した「大政奉還」から150年。来年、2018年は「明治維新」から150年の節目の年。

3月4日には高知県立高知城歴史博物館が開館します。この博物館をメイン会場として、県内の地域会場(20会場)で「志国高知 幕末維新博」が開催されます。維新の志士たちが生きた時代の土佐の風土・文化・食・自然などを知ることができます。皆様も是非、足をお運びください。

### 高知市の2会場を紹介します

#### ◆高知市立自由民権記念館

日本で最初の民主主義運動である「土佐の自由民権運動」は、近代日本に大きな役割を果たしました。この施設では、貴重資料の展示や映像などの魅力アップを図ります。また、自由民権運動の発祥の志を未来へ伝えるために、周辺史跡のまち歩きプログラム「土佐っ歩」と連絡しての史跡巡りなどを検討しています。

#### ◆高知市立龍馬の生まれたまち記念館

近代日本の出発点となったこの大改革に、なくてはならない活躍をした土佐の歴史を彩る数多くの偉人たちにスポットを当て、分かりやすく伝える工夫を検討しています。人気のまちあるきのための「周辺史跡ガイドブック」を新たに発行し、5月末には龍馬の生い立ちを追体験できる「バーチャルリアリティ体験ブース」が新登場の予定です。

**太陽**